

やまぐちっ子の学力向上に向けて

令和5年2月

やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、子どもたちの資質・能力を育成することが求められています。そのためには、学習指導要領の着実な実施が重要であることから、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めるとともに、令和4年度からは山口県学力定着状況確認問題をC B T方式*で実施するなど、時代の変化に合わせた学習環境づくりに取り組んでいるところです。

こうした中、令和4年度の全国学力・学習状況調査における本県の結果では、小学校・中学校ともに、自分の考えを深めたり広げたりする授業が展開されてきてはいるものの、基礎的・基本的な内容を活用する力の育成や、勉強が好きな児童生徒の育成などに課題が見られます。

これらの課題を改善し、全ての子どもたちの可能性を引き出す学びを保障するためには、学習指導要領の趣旨を踏まえ、コミュニティ・スクールを核として、「学校の『組織力』の充実」、「教員の『授業力』の向上」、「学校・家庭・地域の『連携力』の強化」の3つの視点による取組をさらに充実・深化させていくことが重要であると考えます。

そこで、「やまぐちっ子の学力を育む検証・改善委員会」では、学校における取組や教育委員会の施策、これまでの全国学力・学習状況調査や山口県学力定着状況確認問題の結果等を踏まえ、今後の取組の一層の充実に向け、次の提言をまとめました。

※タブレット端末を用いた調査

－ 提 言 －

1 学校の「組織力」の一層の充実

- 子どもたちに育成すべき資質・能力を身に付けさせるため、「カリキュラム・マネジメントの手引き」に基づいて、「学校・地域連携カリキュラム」の充実を図り、学校・家庭・地域が一体となってカリキュラム・マネジメントに取り組むこと
- 山口県学力定着状況確認問題と全国学力・学習状況調査を活用した年間2回の検証改善サイクルの徹底や、CBTによる採点システムを活用したスピード感のある情報提供等、各学校における課題の焦点化や課題解決に向けた組織的・計画的な授業改善の取組を促進すること
- 課題を的確に把握し改善するため「やまぐち学習支援プログラム」を効果的に活用し、きめ細かな学習を支援する体制づくりに取り組むこと

2 教員の「授業力」のさらなる向上

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、子どもたち自身が学習活動を振り返って自己の変容や伸びを自覚したり、社会や実生活とのつながりを実感したりすることができる授業づくりを促進するとともに、効果的な指導方法等の研修会を実施するなどして、教員の指導力の向上を図ること
- リアルな体験を通じた学びとICTを効果的に活用した学びを組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた取組を推進すること
- 教員のキャリアステージに応じた研修会等において、授業力や教科の専門性等の一層の向上を図り、研修の成果の還元に努めること

3 学校・家庭・地域の「連携力」の一層の強化

- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、コミュニティ・スクールの経営者として管理職がリーダーシップを発揮し、中学校区における学力課題や、子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を学校・家庭・地域で共有するとともに、地域の教育資源の活用を引き続き推進すること
- 学校運営協議会等での熟議を通して、家庭・地域等、子どもの育ちに関わる多くの人々が一体となって中学校区で育つ子どもたちの学習習慣や生活習慣の確立を図ること
- 接続する学校や幼児教育・保育施設等との連携により、発達の段階に応じた指導方法の工夫・改善を図るとともに、子どもが自己の将来に夢や目標をもち、その実現に向けて学ぶことができる取組を促進すること

本提言をもとに、各市町教育委員会との連携強化を進めるとともに、学校・家庭・地域が一体となった学力向上に向けた取組が一層推進されることを期待します。